

子供たちの学習意欲をどう引き出すか

来内不燃物に掛かる 河川水質調査について

【質問】 来内不燃物埋立地に冷蔵庫などすべて埋立ててきたが心配である。本格的に専門家で調査する必要があると思うが。

【答弁】 来内の不燃物埋立地を廃止する事で、重金属類等とガスを2年間調査する目的で水質調査を継続して行っている。昨年度の水質調査では、重金属類の鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀の値も基準値以下とデータが出ている。地下水質も1ヶ所調査している。

【質問】 問題は、ボーリングをして調べたか、色々な対策があるが。

【答弁】 ボーリング調査も平成16～18年度実施し、ガスと温度も計測している。

土地改良区合併の 進度は

【質問】 土地改良区への補助金440万の内容は。

【答弁】 遠野へ255万円、宮守へ185万円となっている。

【質問】 前に改良区の合併に関し質問した際、予定よりも前倒しで進める旨の答弁があった。補助金も合併した方が、より効果的と思うが進展具合はどうか。

【答弁】 地域差等の課題もあり、調整が順調に進んでいるという状況にはない。

【質問】 新市が誕生する際にも幾多の課題や弊害を克服しての実現となった。農家にとって経営の基盤となる農地や施設を改良し管理

する改良区の一日も早い合併を望む。

【答弁】 関係者や上部機関とも連携を取りながら強力に進めたい。

育種組合の加入と その評価は

【質問】 遠野には黒毛繁殖牛が3千頭いると思うが子牛の市場上場牛が2,100頭位と県内で断トツに多い。市内で生産された育種牛の評価は。

【答弁】 育種牛から生産された子牛の価値が高い程効果があるが、育種牛は繁殖農家が安定して価格が取れるような血統や体系を評価し決定している。

【質問】 遠野市も生産者も負担金を出している。活用はどうなっているのか。

【答弁】 良質な種雄牛を出し、その種の子牛を生産し現場検定、間接検定を行う事業等に負担している。

【質問】 育種母牛の候補審査をし、認定牛には指定種雄牛の種を付ける助成として5万円を交付され、それより生まれた子牛を自家保留すれば更に5万円交付される。この事業を通じて、より良い生産活動ができるが、育種組合の今後は。

【答弁】 育種組合の前身は改良組合であり、数値化して安定した畜産農家の生産につなげることになる。市と農家の負担金を合わせながら活動をしていきたい。

学力向上の方策は

【質問】 全国学力調査の結果が発表され岩手県の学力が芳しくないとのことであった。その対策として家庭学習の充実等、学習時間の確保が叫ばれているが、その前に大切なのは子供達のヤル気ではないのかと思うがどうか。

【答弁】 学力は、この方法をすれば向上するという一面的なものだけではなく、家庭学習も大切であるし、同じ授業でも子供達が、より分かるような授業改善も進めている。また、子供達にいかんが学習の必要性を感じてもらい、意欲をもって学習に取り組むかについても、日々研究し努力をして学力の向上につなげている。

施設待機者への今後の 対応策について

【質問】 介護認定者の今後と、次期介護保険事業の見通しはどうなっているのか。

【答弁】 これからも増えていくものと想定している。平成21年度から3年間の第4期介護保険事業計画を策定中であり、来年度からは旧遠野市と旧宮守村の介護保険料が統一されることになっている。

【質問】 旧遠野市の場合、居宅サービスを重点に事業を進めてきたが、現実には介護施設等への待機者がかなりある。今後の対応は。

【答弁】 特別養護老人ホームの待機者はこの3月末で189人と把握している。市外の待機者も含めると230人くらいとなる。第4期の計画の中で居宅サービスの在り方を検討するが、介護保険制度にとらわれない新たな仕組みづくりが必要だろう。

